

# 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

- ① 化学療法分科会
- ② 緩和ケア分科会
- ③ 相談支援分科会
- ④ 院内がん登録分科会
- ⑤ 地域連携分科会
- ⑥ 放射線療法分科会

令和7年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

化学療法分科会

分科会開催日	令和8年2月13日(金)(オンライン開催)
令和7年度実績	<b>化学療法 web カンファレンスの実施</b> 各医療機関における実際の症例を基に、症例検討を行う。 (計4回・次ページ参照)
令和8年度予定	1. 化学療法 web カンファレンスの実施 関係部門の医師、薬剤師、看護師など多職種の参加を促し、さらなる内容の充実化を図る。  2. 化学療法医療チーム研修会の開催 県内のレベルアップを目標に、チーム研修会を開催予定

令和7年度 化学療法 web カンファレンス実績

第1回	7月2日(水)	『がん在宅診療の観点から見た鎮痛戦略 -ジクトル®テープを中心に-』  発表者 南奈良総合医療センター 消化器外科 西和田 敏先生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良医大附属病院</li> <li>・市立奈良病院</li> <li>・奈良県総合医療センター</li> <li>・近畿大学奈良病院</li> <li>・天理よろづ相談所病院</li> <li>・国保中央病院</li> <li>・済生会中和病院</li> <li>・大和高田市立病院</li> <li>・奈良県西和医療センター</li> <li>・南奈良総合医療センター</li> </ul>
第2回	9月22日(月)	『イムデトラ導入に向けた当院での取り組みと、実際の使用経験について』  発表者 奈良県立医科大学附属病院 腫瘍内科 大田 正秀 医師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良医大附属病院</li> <li>・市立奈良病院</li> <li>・奈良県総合医療センター</li> <li>・天理よろづ相談所病院</li> <li>・国保中央病院</li> <li>・南奈良総合医療センター</li> </ul>

第3回	12月19日(木)	<p>『同時性重複癌の治療選択』 発表者</p> <p>奈良県総合医療センター 血液・腫瘍内科 小林 真也医師</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 奈良医大附属病院</li> <li>• 市立奈良病院</li> <li>• 奈良県総合医療センター</li> <li>• 近畿大学奈良病院</li> <li>• 天理よろづ相談所病院</li> <li>• 奈良県西和医療センター</li> <li>• 南奈良総合医療センター</li> </ul>
第4回	2月13日(金)	<p>『大腸がんと化学療法&lt;私の経験について&gt;』</p> <p>発表者</p> <p>奈良県西和医療センター 外科・消化器外科 石川 博文医師</p>	

令和7年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

緩和ケア分科会

分科会開催日	令和7年10月20日 オンライン開催		
令和7年度 実績	① まほろば PEACE 緩和ケア研修会 計9回 (県内拠点病院、地域がん診療病院、支援病院で開催)		
	開催医療機関	開催日	受講者数
	奈良県立医科大学 附属病院	7月27日(日)	25名
		10月25日(土)	32名
	市立奈良病院	7月13日(日)	21名
	近畿大学奈良病院	8月3日(日)	15名
	奈良県総合医療センター	8月31日(日)	36名
	天理よろづ相談所病院	9月7日(日)	11名
	南奈良総合医療センター	11月8日(土)	24名
	国保中央病院	11月9日(日)	10名
	高田市立病院	12月20日(土)	21名
	② 研修会等の開催 →別紙参照		
	③ 緩和ケア地域連携カンファレンス〔奈良医大のみ〕		
開催日	テーマ	参加人数	
4月17日	受容困難な患者と家族への介入ー思春期の子どもに進行がんを伝えられないー	19名	
5月15日	在宅静注強心薬を使用した末期重症心不全患者に対する多職種チームによる緩和ケアの経験	21名	
6月19日	介護活動が破綻寸前の神経難病の療養者とその家族の事例	17名	
7月17日	化学療法を中断された乳がん患者の一例	19名	
以降、原則月1回開催：累計161名参加(R8.1月時点)			

	<p>④ 緩和ケアに関する相談事業の整備</p> <p>目的：奈良県内の緩和ケアに関する相談事業の充実を図る</p> <p>1) 基本的緩和ケアに関する相談事業  対象：県内の医療機関、在宅医療に携わる医師や訪問看護ステーション等の医療従事者  窓口：奈良県立医科大学附属病院 在宅医療支援センター <a href="https://idaizaitaku.naramed-u.ac.jp/">https://idaizaitaku.naramed-u.ac.jp/</a></p> <p>2) 専門的緩和ケアに関する相談事業  対象：県内の緩和ケアチームやがん治療に携わる医師  窓口：国立がん研究センター中央病院緩和医療科 CHALLENGE - CanPain  <a href="https://challenge-canpain.net/">https://challenge-canpain.net/</a>  *いずれのシステムも事前登録が必要</p>
<p>令和8年度  予定</p>	<p>① まほろば PEACE 緩和ケア研修会  ② 看護師に対する研修会 (ELNEC-J)  ③ 在宅緩和ケア地域連携事業「がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会」  ④ 緩和ケアチーム研修会  ⑤ 緩和ケア地域連携カンファレンス</p>

## 令和7年度 奈良県がん診療連携協議会（緩和ケア分科会） 取組について

◆当該がん医療圏において顔の見える関係性を構築し、がん医療の質の向上につながるよう、地域の診療従事者を対象とした研修やカンファレンスの開催

指針：Ⅱ4（5）、Ⅵ4（5）

医療機関名	事業内容 (研修名、テーマ、開催日、受講者数、開催方法等)
奈良医大	在宅緩和ケア地域連携事業「がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会」 テーマ：自分らしさを大切にする在宅医療～「納得医療」を目指して～ 開催日：2025/11/9（日） 開催方法：実地、後日オンデマンド配信有 受講者：実地48名、事前申込者140名へオンデマンド配信案内
奈総医セ	在宅緩和ケア地域連携事業「在宅緩和ケア研修会」 テーマ：排泄ケアを見直す～心地よい排泄をするために～「気持ちよく出す」ことを叶える排便ケア 開催日：2026/1/14（水） 開催方法：ハイブリッド（実地、Zoom） 受講者：実地9名、Zoom28名
市立奈良	在宅緩和ケア地域連携事業 テーマ：症状緩和：がん性疼痛～アセスメント力と薬の知識を知り臨床推論を高めませんか～ 開催日：2025/11/13 参加者：52名（現地）  地域連携カンファレンス 患者・家族の希望をかなえる支援～在宅療養への懸け橋～ 開催日：2025/6/12 参加者：69名（現地）
近大奈良	○第44回生駒緩和医療研究会 一般講演 「オピオイドの副作用対策について」 特別講演 「入院中からできる自宅退院を叶える症状緩和のABC」 開催日：2025/4/17 参加者：57名（現地）10名、(Zoom)47名 ○第45回生駒緩和医療研究会 一般講演「顎骨壊死の現状と診療科連携について」 特別講演「社会に広げ、共に育む緩和ケアへ。～これからの地域コンサルテーションの課題～」 開催予定日：2025/10/30 参加者：32名（現地）11名、(Zoom)21名  ○第15回がん地域連携ケースカンファレンス 開催日：2025/7/25 参加者：5名（現地）、31名(Zoom) ○第16回がん地域連携ケースカンファレンス 開催日：2026/2/5
天理よろづ	地域連携カンファレンス 内容：急性期病院、訪問診療・看護による症例検討会 2026年3月実施予定
南奈良	○第25回 南和地域在宅医療研修会 テーマ：生かす医療から寄り添う医療へ -その人らしい最期を- 開催日：2026/2/19（木） 予定 参加者：未

◆地域を対象として、緩和ケアやがん教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用法等に関する普及啓発

指針：Ⅱ5（3）③、Ⅵ5（3）※他の分科会で開催される場合はその旨記載ください。

医療機関名	事業内容 (研修名、テーマ、開催日、受講者数、開催方法等)
奈良医大	他分科会で開催予定
奈総医セ	公開講座 テーマ：「最新のがん治療2025」 ①早期胃がんの内視鏡治療②膵がんの新しい手術③婦人科がん④がんゲノム医療の展開 開催日：2025/10/11 開催方法：実地 参加者：152名
市立奈良	市民公開講座 テーマ：よくいきはじめ -輝く未来へ- 開催日：2025/10/9 参加者：27名（現地）
近大奈良	○第4回 近畿大学奈良病院メディカルフェア 内容：がん相談支援センター・ACPブースにおける相談 開催日：2025/6/11（土） 参加者：201名（全体）  ○第14回 市民公開講座 テーマ：乳がんの治療について 開催日：2025/10/18 参加者：32名 ○第15回 市民公開講座 テーマ：子宮がん、胃がんの治療について 開催日：2025/11/22 参加者：50名 ○患者サロン「いこま」におけるミニ講義 開催日・テーマ：2025/8/20 膵がんについて 参加者：9名 2025/9/17 乳がんについて 参加者：9名 2025/10/15 肺がんの手術について 参加者：8名
天理よろづ	○ミニレクチャー テーマ：がんの情報とうまく付き合うために 開催日：2025/7/23 参加者：6名  ○ミニレクチャー テーマ：がん治療にともなう外見ケアについて～あなたの笑顔を応援します～ 開催日：2025/9/24 参加者：11名  ○アピアランスケアの情報提供・相談 テーマ：がん患者さんのアピアランスケア相談会 開催日：2025/10/22 参加者：3名
南奈良	○健康フェスティバル2025 家族と話そう私の生（逝）き方 -はじめませんか？人生会議- がん相談支援コーナーにて人生会議体験コーナーとがん相談会 開催日：2025/11/16 参加者：7名

◆当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修の実施

指針：VI1（1）〔奈良医大必須条件/他病院は任意ですが、ELNEC-J等開催されている場合はご記載ください〕

医療機関名	事業内容 (研修名、テーマ、開催日、受講者数、開催方法等)
奈良医大	<p>○ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム 開催日：2025/9/14（日）、9/28（日） 開催方法：実地 受講者：36名</p> <p>○緩和ケアチーム研修会 テーマ：医療者がリードするがん患者の「患者力向上」 ～患者力を引き出すために必要な知識やスキルを身につける～ 開催日：2026/1/25（日） 開催方法：実施 受講者：17名</p>
奈総医セ	-
市立奈良	-
近大奈良	<p>○第7回がん治療アップデートセミナー テーマ：①「乳がんの診断と治療アップデート」②「最新の肺癌外科治療について」 開催日：2025/9/18（木） 開催方法：WEB形式 参加者：26名</p>
天理よろづ	<p>○看護部集合研修「感情表出を促すコミュニケーションスキル‘NURSE’」 開催日：2025/6/5（木）、10/23（木） 参加者：7名</p> <p>○憩エキスパートナーズ「第5回がん看護分野 院内認定コース」 開催期間：2024年6月～2025年12月 全14回 参加者：7名</p>
南奈良	<p>○院内緩和ケア勉強会 テーマ：当院緩和ケアチームの活動報告（緩和ケアパンフレットと外来スクリーニングについて） 開催日：2026/2/10（火）予定 参加者：未</p>

<p>分科会 開催日</p>	<p>第1回：令和7年6月25日(水) 議題：令和6年度がん相談支援センター利用状況調査の集計結果報告 令和7年度各相談支援センター活動計画について 等</p> <p>第2回：令和8年3月(予定) 議題：がん相談支援分科会次年度活動計画立案 令和6年度奈良県がん相談支援従事者研修会報告 等</p>
<p>令和7年度 活動実績 (R7.12.31 現在)</p>	<p><b>1. 治療と仕事両立支援継続</b></p> <p>①社会保険労務士の就労相談の継続実施(実施回数/利用者数) 奈良医大:9回/17名 県総合:8回/12名 市立奈良:9回/14名 天理よろづ2件 10月11日 県総合にて社労士による患者向け講演会を開催 参加：11名</p> <p>②ハローワーク・産業保険総合支援センターとの連携の継続 ハローワーク出張相談(実施回数/利用者数) 奈良医大:37回/21名 県総合:20回/18名 天理よろづ1名</p> <p>③療養・就労両立支援指導料に関する院内への周知、指導料算定に至った相談事例の 病院間での共有 近大奈良:算定6件 市立奈良病院より、北和地区勉強会にて療養・就労両立支援指導料を周知 その他医療機関では相談者に療養・就労両立支援指導料算定には至らなかったもの の、相談員や社労士のサポートにより患者自身で解決に至った事例も多数あり。 上記以外では、奈良県治療と仕事の両立支援推進チーム会議で奈良労働局から提案さ れた両立支援リーフレット作成に協力、会議メンバー(奈良医大、天理よろづ)以外 で掲載希望のあった相談支援センターの相談窓口情報も掲載予定</p> <p><b>2. 県内がん相談員のスキルアップ</b></p> <p>①令和7年度奈良県がん相談支援従事者研修会の開催 令和8年2月8日(日)開催予定 テーマ「がん相談員としての意思決定支援～他部門・多職種との連携においてがん 相談員としてできること～」</p> <p>②国立がん研究センターの相談員指導者研修受講要件を満たす相談員の育成 受講要件に必要な研修の受講、県内相談員対象の研修会運営・企画への参加促進 複数の相談員が相談員基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、QA研修を受講 ①の研修企画段階において、ファシリテーター協力依頼、検討事例の募集を行い 運営・企画への参加を促した</p> <p>③スキルアップに必要な研修の受講 海外研修参加、がんゲノム医療コーディネータ研修、AYA世代やアピアランスケ アをテーマとした研修など多数の研修に各相談員が参加すると共に講師依頼への 対応や国立がん研究センター主催の研修にファシリテーターとして参加するなど、 後進育成に繋がる活動に複数の相談員が携わった</p> <p><b>3. 患者サロン運営の充実・強化</b></p> <p>①サロン運営者会議等でピアサポーターと連携し、患者サロンの充実を図る サロン開催日に合わせてミニレクチャーを開催する医療機関が増えており、患者教 育、サロン参加者増加、語り合いの場での話題提起などに繋がっている 各医療機関でピアサポーターとの運営会議を実施、ピアサポーターの意見を取り入 れながらサロン運営ができています 令和7年度ピアサポーターフォローアップ研修に相談員が参加</p> <p>②働く世代等が参加可能な機会の検討及び、他団体で実施しているサロン・集い に関する情報提供 県総合にて休日の相談会を開催、2時間の開催で8名の相談があり、働く世代へ</p>

	<p>の相談機会の確保につながった 他の医療機関でも相談者の声を反映した資料提供、外部団体で実施されているサロンの情報提供などを行った</p> <p><b>4 ライフステージに応じた療養環境への支援</b></p> <p>① 小児・AYA 世代へのがん相談支援センター周知への取り組み及び対象者のニーズ把握に努める 対象者のリストアップや外来看護師との連携、AYA 世代専用のスクリーニングシートを活用し、ニーズの把握や他部門との連携、相談員の介入を行った。AYA 世代患者が少ない医療機関においても、相談時に対応できるよう資料の整備などの準備を整えている。</p> <p>②主科とがん相談支援センターが連携し、高齢者のニーズ把握及び対応に努めるとともに、主治医等との対話促進を軸にした意思決定支援を行う 高齢者がん診療ガイドラインの活用、意思決定支援フローチャートの整備、高齢者が多い診療科との連携等を実施。他部門から意思決定支援の協力依頼が増加するなどの効果がみられている。相談者了承のうえで診療科へのフィードバック、相談内容の部署間の共有をより強化する必要あり</p> <p><b>5. がん相談支援センターの周知と相談機能の強化</b></p> <p>①外来初診時から治療開始までを目途に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む)することができる体制の整備 外来診療診療スケジュールへのセンター訪問追加、リーフレットの更新、相談内容内訳データの医療者へのフィードバック、病棟スタッフ向けの相談員顔写真入りポスターの作製などの取り組みを実施。利用状況調査にてセンターを知ったタイミングや適切性を問う設問を追加しており、結果を今後の取り組みに反映する予定</p> <p>②患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくはそれに準ずるものが統括するなど、がん相談支援センターと院内の診療従事者が協働する体制を整備 診療部門との連携ができるよう医師をセンター長とする、がん診療を担う部門が参加する委員会を発足するなど、病院組織からの支援を得ながら相談対応ができる体制を各医療機関で構築</p>
令和 8 年度 予定	<p><b>1. 治療と仕事両立支援継続</b></p> <p>①社会保険労務士の就労相談の継続実施 ②ハローワーク、産業保健総合支援センターとの連携 ③療養・就労両立支援指導料に関する院内への周知、指導料算定に至った相談事例の病院間での共有</p> <p><b>2. 県内がん相談員のスキルアップ</b></p> <p>①令和 8 年度奈良県がん相談支援従事者研修会の開催 拠点病院等の相談支援に携わる者に対する継続的かつ系統的な研修の実施 ②国立がん研究センターの相談員指導者研修受講要件を満たす相談員の育成 受講要件に必要な研修の受講、県内相談員対象の研修会運営・企画への参加促進 ③スキルアップに必要な研修の受講</p> <p><b>3. 患者サロン運営の充実・強化</b></p> <p>①サロン運営者会議等でピアサポーターと連携し、患者サロンの充実を図る ②働く世代等が参加可能な機会の検討及び、他団体で実施しているサロン・集いに関する情報提供</p> <p><b>4 ライフステージに応じた療養環境への支援</b></p> <p>①小児・AYA 世代へのがん相談支援センター周知への取り組み及び対象者のニーズ把握に努める ②主科とがん相談支援センターが連携し、高齢者のニーズ把握及び対応に努めるとともに、主治医等との対話促進を軸にした意思決定支援を行う</p>

## **5. がん相談支援センターの周知と相談機能の強化**

- ①外来初診時から治療開始までを目途に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む)することができる体制の整備  
国立がん研究センター作成の冊子「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」の活用など、医療機関の実情に応じた対応を実施。分科会等で好事例を共有。
- ②患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくはそれに準ずるものが統括するなど、がん相談支援センターと院内の診療従事者が協働する体制を整備

令和 7 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

院内がん登録分科会

<p>分科会開催日</p>	<p><u>院内がん登録分科会</u> メール開催予定（日時未定）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会報告</li><li>• がん登録研修会開催報告</li><li>• 情報提供等</li></ul>
<p>令和 7 年度 実績</p>	<p><u>がん登録データの集計および分析</u> 各拠点病院のがん登録データの収集・分析（予定）</p> <p><u>がん登録研修会</u> 日時：2月14日（土）開催予定 場所：Zoom によるオンライン形式 研修内容：乳腺センター赤堀先生「乳がんについて（仮）」 血液内科 長谷川先生「血液がんについて（仮）」 参加者：奈良県内医療機関約37 施設 53 名出席予定 （1/26 現在）</p>
<p>令和 8 年度 予定</p>	<p><u>がん登録データの集計および分析</u> 各拠点病院のがん登録データの収集・分析 （予定）</p> <p><u>がん登録研修会</u> 実施予定</p>

<p>令和7年度 実績</p>	<p><u>1. 地域でがん診療をおこなっている医療機関へのがんゲノム医療の推進</u>                  周辺医療機関や当院の患者用に、遺伝子パネル検査周知についてのチラシ・ポスター・冊子を配布した。</p> <p><u>2. 希少がんの診療に関する県内のネットワーク構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都道府県がん診療連携拠点病院および地域がん診療連携拠点病院を対象に、希少がんについての対応状況のアンケート調査を実施した。</li> <li>・ 院内の体制および県内医療機関との連携フローについて検討をおこなっている。</li> </ul> <p><u>3. 県民公開講座の開催</u>                  県民への啓発の一環として、開学 80 周年記念及び新キャンパス開設記念事業「くらしと医学」とコラボレーションし、「がん治療を支える“栄養のカ”」、「血液がんに対する資料の進歩」、「固形がん患者に於ける個別化医療について」をテーマに講演をおこなった。</p> <p><u>4. がん診療医科歯科連携スキルアップ Web 研修会への参加促進</u>                  がん診療関係部門にチラシを配布し、研修会への積極的な参加を呼び掛けた。</p>
<p>令和8年度 予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域でがん診療をおこなっている医療機関へのがんゲノム医療の推進</li> <li>・ 奈良県歯科医師会と連携し、がん患者の口腔ケア対策のサポートを実施継続</li> <li>・ 希少がんの診療に関する県内のネットワーク構築</li> </ul>

令和7年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

放射線療法分科会

分科会開催日	令和7年2月予定（メール会議）
令和7年度 実績	<p>今年度もメール会議を開催し、県内の放射線治療体制の確認及び情報共有を行う予定。</p> <p>放射線療法分科会</p> <p>■県内放射線治療関連施設にエクセル様式を配布し、以下各施設の状況を確認予定</p> <p>&lt;放射線治療の体制等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線治療患者数（年間総数）の増減</li> <li>・ここ最近の変化</li> </ul> <p>&lt;放射線治療機器等&gt;</p> <p>リニアック、ガンマナイフ、陽子線治療装置、高線量率小線源治療装置（Ir等）、前立腺癌ヨード永久挿入装置、他</p> <p>台数の確認</p> <p>&lt;放射線治療医等&gt;</p> <p>常勤放射線治療担当医数、常勤放射線治療専門医数、非常勤放射線治療担当医数、他</p> <p>人数の確認</p> <p>&lt;その他&gt;</p>
令和8年度 予定	引き続き定期的にメール会議を開催し、県内の放射線治療実施施設間の協力関係の強化をすすめていく予定である。